



子育てチャンネル

今月は毎日格闘中の子育てママ、安斉順子さん、本田智美さんの登場です。親子が地域の中で安心して子育てしていけるよう、大勢の人たちの支えがとても大切です。見かけたらぜひ声をかけてください。

「一番好きな人」

子供の成長はうれしいものですが、時折ものすごく寂しさを感じることも少なくありません。

服や靴がワンサイズずつ大きくなっていく時、永久歯が生えてきたのを見つけた時。

私にとっては、子供が巣立っていく日へのカウントダウンのようにも感じられ、なんだか切なくなってしまうのです。

長男5歳。そつえば「抱っこ」とお願いされることもいつの間になくなってしまいました。

入園の前夜、生まれてからこれまでの間、朝から晩まで一日中ずっと一緒に過ごしてきた日々を振り返っていると涙がポロポロと止まらなくな

り、一人布団の中で号泣した私でした。新しい生活への喜びと不安はもろもろですが、それ以上に寂しさがこみあげてきて…。その日はほとんど眠れませんでした。

「ママが一番大好き。パパと結婚が終わったら、有成と結婚しようね」。こんな泣ける言葉を言ってくれる長男ですが、彼の中の一番は、あと何年私であってくれるのでしょうか？

いつか必ず訪れる私以外の誰かが一番になる時。それまでの限られた時間ではありませんが、子が親に向ける純粋な愛情に大いに応えてあげたいと思っています。

そんな私が将来子供たちが巣立った後の寂しさを心配していると、必ず夫が言うセリフ。

「なに言ってるの？ パパが残っているでしょう」。

安斉順子
(有成5歳、聖七3歳)

「だいすき!! ひがしかわ」

2006年10月に、まち並みの美しさに心を奪われ、東川に引っ越して来ました。色彩豊かなまち並みを初めて目にした時の感動は今でも忘れません。

とはいえ、縁も由縁もない土地で、夫の帰りを待つだけの生活。家に引きこもること一年半。寂しさに押し潰されそうでした。

ところが、葵が生まれて生活が激変。葵が地域と私を結びつけ、私を強くしてくれました。また、温かく受け入れてくれた支援センターの皆さんにも、とても感謝しています。

センターへは、ベビーカーで通っていますが、最初は赤ちゃんの葵を連れて無事にたどり着けるか不安でいっぱいでした。

でも、歩いていると季節や町の変化に気づき、自然と会話が生まれ、いつしか楽しい親子の時間へと変わっていきましました。家にいると家事に追

われ、ついつい放つたらかしらになってしまいがちですから

また、違う人と挨拶したり言葉を交わすことは、親子3人きりの生活をしている私たちにとって、家族以外の人と触れ合う大切な時間です。

「この町で子育てをスタートできたのは本当に幸せなこと。思い切って移り住んで良かった」とよく夫と話しています。春からはベビーカーを卒業して自転車に挑戦しようかな? と考えています。それだけ私も葵も大きく成長したんだ、としみじみ思う今日このごろ。きつと、自転車からの景色も素敵に見えることでしょう。また一つ、新たな楽しみが加わりました。

本多智美
(葵2歳)

